

★問題が生じた時の対応と解決

| 問題   | 原因   | 解決   |
|--|--|--|
| ▼ ディスプレイが、検査ストリップが挿入された後も空白である。                          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーが正しく格納されていない。</li> <li>2. 電力/電圧が極端に低い。</li> <li>3. 検査ストリップ挿入とテスト遂行に時間がかかりすぎた。</li> <li>4. 検査ストリップが血糖器の中に十分に差し込まれていない。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バッテリーを正しく格納する。</li> <li>2. 新しいバッテリーに取り替える。</li> <li>3. 血糖器に検査ストリップを再挿入する。</li> <li>4. 血糖器に検査ストリップを再挿入する。</li> </ol>  |
| ▼ 血糖器上のコード番号が、検査ストリップバイアルに印刷されているコード番号と異なっている。           | 正しくないコード番号が血糖器にインプットされている。   | <p>血糖器に、バイアル上のコード番号と一致させるために再コード入力をする。</p> <p>(手順)検査ストリップ挿入(自動 ON)→CH 表示→コード番号表示と順次表示されます。コード番号が点滅表示中に S ボタンを押し続けると連続的に表示番号が変わり、1 回押すと数字が一つ上がります。</p>  |
| ▼ サンプルを検査ストリップに添加後も測定を開始しない。<br><br>血糖器のカウントダウンがスタートしない。 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査ストリップが熱か湿気で損傷をうけている。</li> <li>2. 本体が測定スタンバイ状態になる前にサンプルを添加している。</li> <li>3. サンプルが検査ストリップのウエルに正しく添加されていない。</li> </ol>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しい検査ストリップを使用し再テストする。または、検査ストリップを正しく再挿入し再テストを行う。</li> <li>2. “●”シンボルが点滅表示(スタンバイ状態)になってからサンプルを添加する。</li> <li>3. サンプルは検査ストリップ先端のウエル(切れ込み部分)へ添加してください。</li> </ol>   |
| ▼ テスト結果にバラツキがあるかコントロール液テスト結果が規定の範囲内でない。                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査ストリップ内に十分量のサンプルがはいっていない。</li> <li>2. 検査ストリップ或いはコントロール液の有効期限切れ。</li> <li>3. 検査ストリップが熱や湿気で損傷をうけている。</li> <li>4. 血糖器システムが室温より非常に高いか或は低いかの環境により動作しない。</li> <li>5. コントロール液がコンタミ(汚染)している可能性がある。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しい検査ストリップで再試行し、十分量のサンプルが入っていることを確認する。</li> <li>2. 使用期限内のストリップ或いはコントロール液で再テストする。</li> <li>3. コントロール液テストを新しい検査ストリップを使用して行う。もし、結果がそれでも規定範囲外であれば、別のバイアルの検査ストリップを使用してみてください。</li> <li>4. システムを室温環境に移し、新しくテストを開始する前に10~15分待ちます。</li> <li>5. 新しいコントロール液を使用する。</li> </ol> |
| ▼ 測定結果が本体にメモリーされない。                                      | 本体が「コントロールテストモード」に設定されている。(検査ストリップ挿入後、ディスプレイに“CTL”の表示があるかどうか確認してください)  | 検査ストリップを本体に挿入し、コード番号の点滅が止まった時(ディスプレイに測定単位が表示されます)に本体右側面の S ボタンを 1 回押してください。“CTL”の表示が消えたことを確認してください。  |

★注意事項

- \* グルコース・パイロット血糖モニタリング・システムは、in vitro 専用の**研究用機器・試薬**です。
- \* グルコース・パイロット検査ストリップは、新鮮な毛細血管全血サンプルとともに使用されます。
- \* 動物でも、著しい脱水症状、低血圧症、ショック状態、あるいは、高血糖の超浸透性状態の中でテストを行うと偽の結果が出る場合があります。これらのうち、1つでも所見された時はテストを行わないことをお勧めします。
- \* 短時間に連続使用するとシステムが正常に作動しないことがありますのでご注意ください。
- \* グルコース・パイロット・システムはヒト用に開発されたものを実験動物用等の血糖測定に転用使用するものです。従って、システムと同梱されているランセット及びランセットホルダーディバイスは、実験動物等からの血液サンプリングには必ずしも確にデザインされていません。採血に際しては、施設に於ける実験動物等の通常の採血方法に従って血液サンプリングを行ってください。